

# 令和6年産 コメ通信

第10号（令和6年9月12日）

【発行】  
北秋田地域振興局農林部農業振興普及課  
（電話：0186-62-1835）

## 籾の黄化進む！刈り遅れに注意！

### 1 気象経過と生育状況

#### 【気象経過】

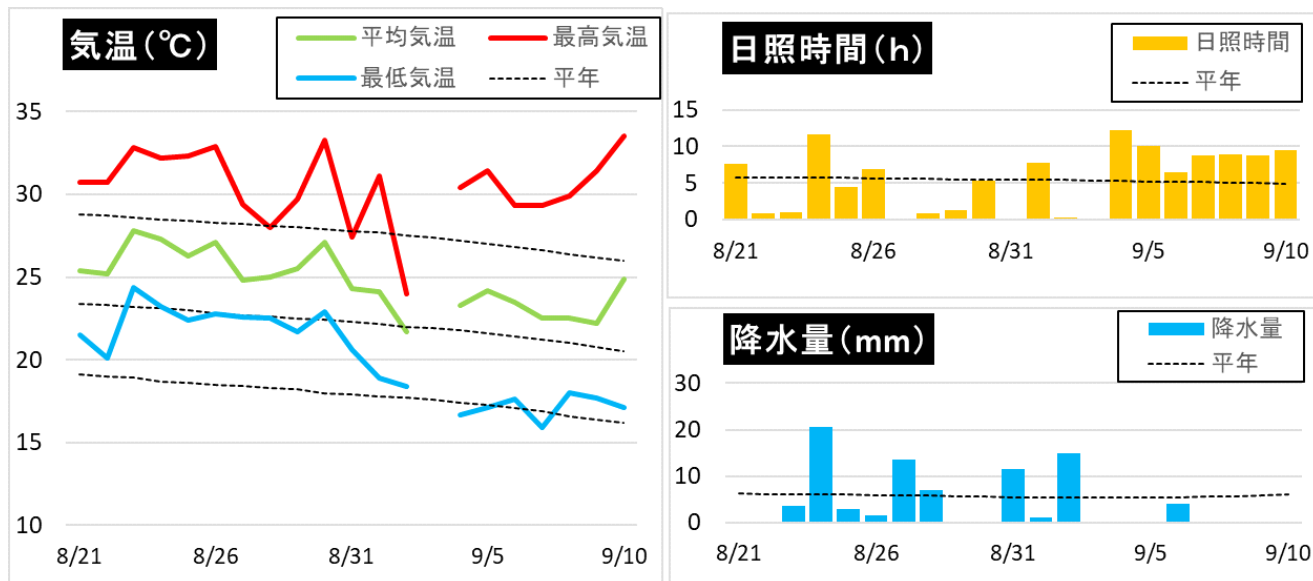


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）  
※9月3日はアメダスデータなし。

- 8月5半旬～9月2半旬の気温は高く推移しました。
- 日照時間は、8月5～6半旬はやや少なかったものの、9月に入り多くなりました。
- 降水量は、たびたび降雨があったものの、平年よりもやや少なくなりました。
- 仙台管区気象台の1か月予報（9月5日発表）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並と予想されています。

#### 【生育状況】

- 9月10日現在の生育（あきたこまち：9地点平均）を平年と比べると、稈長と穂長は長く、穂数は多くなっています。穂数は多かったものの、無効分げつが多かったため、有効茎歩合は平年よりやや低くなりました。
- 定点調査ほにおける倒伏程度は2.5（平年：0.4）と平年より大きくなっています。稈長が長く、紋枯病が上位茎葉に進展したほ場もみられることから、倒伏程度の大きいほ場が多くみられています。今後の降雨によってはさらに倒伏が拡大することが予想されます。

表1 定点調査結果（9月10日）

	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	有効茎 歩合(%)
<b>本年</b>	<b>86.2</b>	<b>18.2</b>	<b>480</b>	<b>80.1</b>
平年	82.3	17.7	457	81.2
前年	78.9	18.2	422	85.3
平年比	105%	103%	105%	-1.1
前年比	109%	100%	114%	-5.2

※平年は過去10か年の平均値を示す。

## 2 刈り取り適期の判断

- 本年は出穂が早く、その後の高温により成熟も早まっています。出穂後の積算気温が、早生品種で1,100℃、中生品種で1,200℃を越えると、胴割れ米が急増しますので刈り遅れに注意してください。
- 刈り取り適期は個々のほ場条件で異なります。図2の出穂後の日数及び出穂後の積算気温による刈取適期予測を参考にして、最終的には籾の黄化程度を観察し黄化程度が90%に達した時期に刈取してください。積算気温による刈取予想（表3）によると、出穂期が7月30日であれば9月5日には950℃を超え、「あきたこまち」は適期を迎えています。

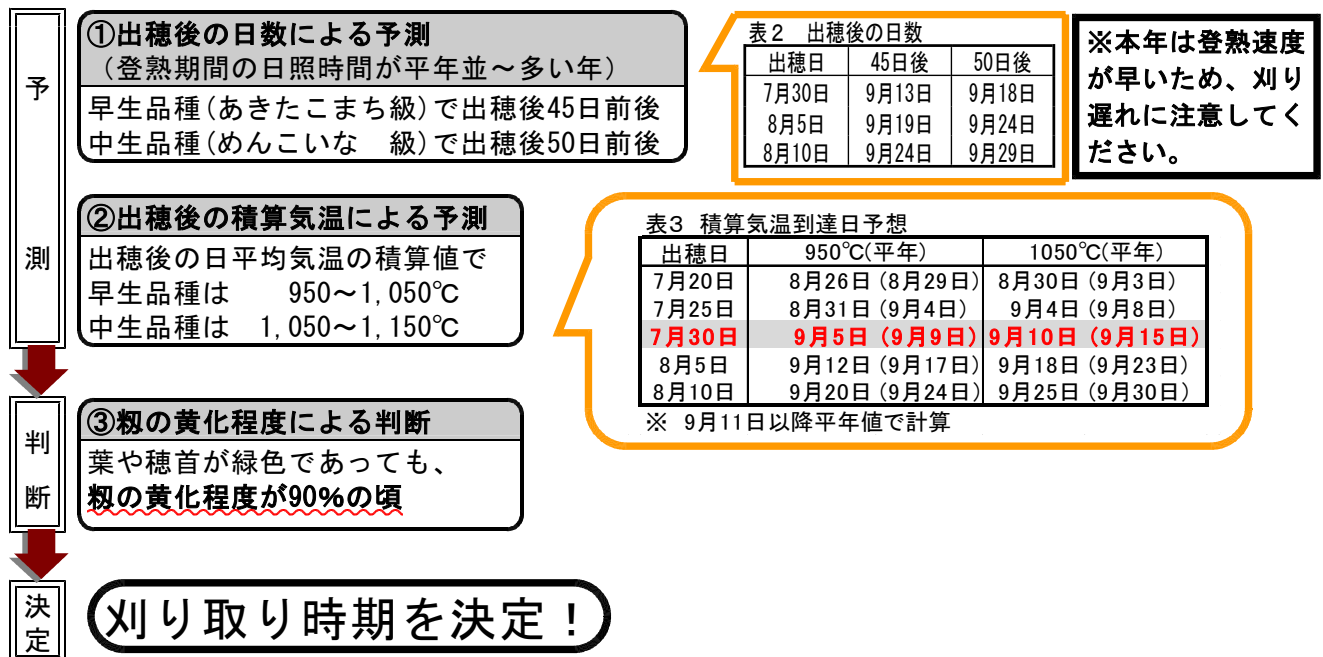


図2 刈取適期の予測及び判断目安

## 3 収穫作業

収穫時の籾水分は25%以下が望ましく、収穫時刻は稲体が乾燥している午前10時頃から午後5時頃とします。また泥の汚損粒が発生しないよう注意して収穫します。

### <秋の農作業安全運動 9月10日～10月20日>

- 点検・調整時は必ずエンジンを停止してください。
- コンバインによる収穫作業は計画的に行い、長時間や夜間の作業を避けてください。
- 道路走行時は反射材を活用し、安全を確保してください。
- 作業前後は機械や安全装備の点検を励行してください。
- 軽トラック運転時のシートベルト着用、一時停止の遵守を徹底してください。
- トラクタに安全キャブ・安全フレームを装備し、シートベルトの着用を徹底してください。
- 暑い日が続きます。こまめに水分補給を行うなど、熱中症に注意して作業しましょう。

### <稲わら焼き禁止期間 10月1日～11月10日>

周辺に影響が出やすいこの期間は、全面的に稲わら焼き(籾殻含む)が禁止されています。

問い合わせはJAまたは農業振興普及課まで ～次回発行は12月中旬頃～